

子宮頸がん予防ワクチンについて

接種するワクチンや年齢によって、接種のタイミングや回数が異なります。



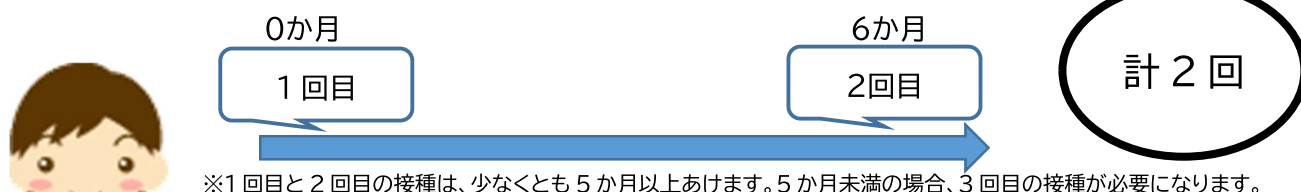
※HPV ワクチンの種類と接種期間

HPV ワクチンの種類	接種回数	標準的な接種期間
サーバリックス (2 価)	3 回	1 回目から 1 か月の間隔をおいて 2 回目を接種した後、 1 回目から 6 か月の間隔をおいて 3 回目を接種。 ※標準的な接種間隔をとることができない場合 2回目:1回目の接種から1か月以上の間隔をおいて接種 3回目:1回目の接種から少なくとも5か月以上、かつ2回目の接種から 少なくとも2か月半以上の間隔をおいて接種
ガーダシル (4 価)	3 回	1 回目から 2 か月の間隔をおいて 2 回目を接種した後、 1 回目から 6 か月の間隔をおいて 3 回目を接種。 ※標準的な接種間隔をとることができない場合 2回目:1回目の接種から少なくとも1か月以上の間隔をおいて接種 3回目:2回目の接種から少なくとも3か月以上の間隔をおいて接種
シルガード9 (9 価)	2 回 または 3 回	2回・3回接種の対象年齢については下記参照 ※3回接種の対象で、標準的な接種間隔をとることができない場合 2回目:1回目の接種から少なくとも1か月以上の間隔をおいて接種 3回目:2回目の接種から少なくとも3か月以上の間隔をおいて接種

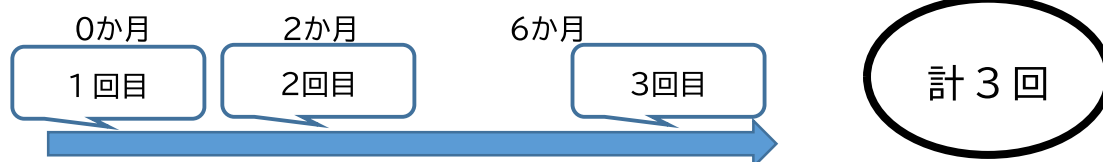
※同じ種類の HPV ワクチンで接種を完了することを原則としますが、既に2価あるいは4価 HPV ワクチンを用いて接種をしても、残りの接種を行う場合に、接種医と相談の上、9価のワクチンを選ぶこともできます。

※シルガード9の接種方法は年齢によって異なります

小学校 6 年生～14 歳 1 回目の接種を 15 歳になるまでに受ける場合



15 歳以上 1 回目の接種を 15 歳になってから受ける場合



※接種対象者について

小学校 6 年生から高校 1 年生相当の女子(標準接種期間は中学 1 年生から)

※キャッチアップ接種の期間延長について

平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれの方で、令和4～6年度までに1回以上接種した方は、令和8年3月31日まで公費での接種が可能です。

【問合せ先】

越谷市健康づくり推進課(保健センター)
越谷市東越谷 10-31 ☎048-960-1100

9価ワクチンの
より詳しい情報は
こちらから

